

# 仲間づくりがイベント開催に発展 (加西市)

活用資源	まちなみ、町家
取組主体	民間事業者

## 概要

- ・加西市北条町は、約 1300 年も続く住吉神社や酒見寺の門前町として栄え、旧街道筋を中心に市場町・在郷町として発展してきた、古いまちなみが残る地区です。現在は、少子高齢化や空き家の増加等が進み、まちに再び賑わいを取り戻すことが課題となっていました。
- ・そこで、「北条旧市街地ビジョン」に町家の再生・活用方策等を位置づけ、市が4軒の空き店舗のリノベーションを誘導し、各施設別々の事業者による運営で活用が始まりました。当初は仲間づくりも兼ねた4施設の情報交換の場として始まった集まりが、今後の取組を議論する定期的な意見交換の場に発展しました。年末には4施設合同の年越しイベントを開催するなど、積極的にまちづくりを進めています。
- ①まちなか春陽堂（地域交流拠点）  
地域団体「北条の宿まちなか活性化委員会」が、地域の人や子供たちが集い世代を越えた交流ができる場として運営
- ②O Cha no Ma（ソーシャルキッチン・カフェ）  
飲食業にチャレンジしたい方等が、実践的なお試し出店などに利用できる場として、「合同会社ワンダーアースクリエイティブ」「カワイデザインワークス」が運営
- ③HOJO MACHI HOSTEL（ゲストハウス）  
「NPO 法人 ZIBASAN」の下で、コワーキングスペース・イベントスペースを持つゲストハウスとして個人が運営
- ④はりまのちっちゃな台所  
「はりまのちっちゃな台所サポート委員会」の下で、地区周辺に多い子育て世帯をターゲットに、子供が過ごせるキッズスペースやイベントスペースを持つ飲食店として「株式会社シャルム」が運営

## ポイント

ココが  
コツ！

- ・複数の団体や事業者の連携に向けて、仲間づくりも兼ねた情報交換の場を持つことは大切です。北条地区では、当初、継続した取組に向けて連携の必要性は感じつつ、各自の事業を軌道に乗せるため情報交換を行っていました。こうした中、県と市の呼び掛けで、世代を越えて様々な人が定期的に意見交換を行う場に発展しました。
- ・そこでは、老若男女のメンバーが良好な人間関係を育み、議論の場でありながら安心感あふれる居場所にもなっています。また、若い運営者は若者受けする企画の提案、地域団体は地域ニーズの拾い上げや地域との橋渡しなど、幅広い世代がそれぞれの良さを活かすことにつながり、新しい価値を創り出しています。
- ・活動の幅を広げるため新しい仲間づくりにも積極的に取り組み、地区内の空き店舗を行政の支援なしにリノベーションし、開店した事業者が仲間に加わっています。



意見交換の場

### この事例をもっと知りたい場合

加西市地域振興部きてみて住んで課

TEL 0790-42-8729

Mail kiteka@city.kasai.lg.jp

SNS @o.cha.no.ma

まちなか春陽堂

@hojo\_machi\_hostel

@harimasmallkitchen